

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

### 3月の主な行事

- 3月 1日(金) 誕生会・ひな祭りのつどい
- 8日(木) 工賃支給日
- 9日(土) 土曜利用日
- 21日(木) 内科健診
- 29日(金) 年度末期末手当支給日

### 3月誕生月 おめでとうございます

佐藤静香さん 畠 海就さん 松浦広貴さん  
誕生月 おめでとうございます。  
誕生会は3月1日に行います。お楽しみに！

# 鬼を退治し 福招く！



鬼めがけて豆をぶつける年男、佐藤利彦さん㊦

鬼乱入！

2月2日、節分には一日早いのですがこの日、ほとほら授産所では「節分のつどい」を行いました。

当日は午前の作業を早めに切り上げ、午前11時半、食堂に集まって集いを持ちました。はじめに開会のことばを熊坂友輔さんが務め、中木所長から季節を分ける節分は年4回あることや、春の節分が年の初めてで大事で、鬼が季節の変わり目にやって来るので退治するようになったことなど、節分のお話がありました。そのあと鬼が食堂の外の出入り口から登場。今年も3人の鬼がお面をかぶって現れ、今年の年男、佐藤利彦さん、年女の八島加奈子さんと鈴木良子さんが、食堂の外出入り口から鬼めがけて豆をぶつけ鬼を退治しまし



た。

豆まきを終えた後は、お昼の給食の時間に合わせてすし竹さんからご寄付いただいた「節分のお寿司」の会食タイムです。すし竹様に感謝しながら、利用者さんたちは美味しそうにいただきました。そして閉会のことばを佐々木仁志さんが述べ、お開きとなりました。



美味しそうにお寿司をいただく利用者さんたち

## お持ち帰り専門 すし竹 様からお寿司寄贈受ける

SEISHI-TAKE



鈴木店長さんからお寿司を受け取る両施設利用者代表の皆さん

2月2日の節分の集いに合わせて、今年もお寿司のテイクアウトで人気があるすし竹様から、節分のお寿司のご寄付をいただきました。

当日は、だての郷ロビーで贈呈式が行われ、ほどはら授産所から利用者代表の氏家絃希さんと高橋友美さん、だての郷から利用者代表の山口美保さん、菊地晴美さん、二瓶学さんが出席し、すし竹赤橋店店長の鈴木敦さんからお寿司の贈呈がありました。毎年ご寄付いただいておりますこと、この紙面を借りすし竹様に厚く御礼を申し上げます。

(その御礼に、2月9日、すし竹赤橋店に利用者さんの代表が伺いました。次ページ関連記事)

# すし竹赤橋店様へ 御礼に伺う



鈴木店長さん⑥に御礼メッセージをお届けした  
利用者代表の皆さん

2月9日、ほどはら授産所の吉田雅哉さんと佐藤淳子さん、だての郷の尾崎隆信さんと菊地晴美さんが担当職員と一緒に、節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹赤橋店へ、御礼に伺いました。

4人の代表者さんたちは、赤橋店店長鈴木 敦さんに、吉田理事長のお礼状と、両施設の利用者さんが作った御礼のメッセージプレートをお届けしました。鈴木店長さんから「皆様からの感謝のことは、ありがとうございました。来年もお届けしますので、楽しみにお待ちしております」と御礼のことはいただきました。

## 手工芸班 針供養行っ



お豆腐に針を刺し供養する  
手工芸班の皆さん

2月8日、ほどはら授産所の手工芸班の皆さんが、針供養を行いました。

これは、日頃、手工芸班の皆さんが刺し子布巾を製作する際、針と糸を使って作業をしており、一年間お世話になった針に感謝する心を表すために行いました。

この日、手工芸班の皆さんは食堂に集まり、御礼の気持ちを使い終えた針に託し、お豆腐に刺して針を供養しました。

久しぶりに針供養を行い、手工芸班の皆さんは少し緊張気味でしたが、伝統行事の一端に触れることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

番外

食育コラム

### 花粉シーズン到来食の 観点からの予防対策



㈱メフォス福島第一事業所  
福島事業所第2課係長 佐藤久美

#### 花粉から身を守る

「吸い込まない」「寄せ付けない」  
「持ち込まない」ことが大事です。

症状を悪化させないために

**免疫力を高めましょう。**

免疫力アップが期待できる食べ物 →  
肉・魚・卵・大豆製品・乳製品などの良質なたんぱく質。緑茶・ココア・赤ワイン・そば・野菜・果物に含まれるポリフェノール（抗酸化物質）。緑黄色野菜のビタミン類。きのこ等の食物繊維。納豆・漬物・ヨーグルト・みそ・しょうゆ等の発酵食品（腸内環境を整える）いずれもバランス良く摂取する事が大事です。十分な睡眠と適度な運動、ストレスを溜めない事も大切です。免疫力をアップさせ、花粉症の活動的なシーズンに備えましょう。

# ほどはら授産所作業班 この1年 2023.4—24.3 手工芸班

令和5年度作業班の活動を報告します。  
利用者の皆さん、お疲れ様でした。



手工芸班の皆さん



旅館のタオルたたみ作業をする利用者さん



旅館タオルの袋合わせ作業をする利用者さん



フルーツキャップ折り作業をする利用者さん



折りたたんだフルーツキャップ



刺し子布巾づくりをする利用者さん

手工芸班の皆さんは、どんな作業に対しても意欲満々です。今年度は、2月半ばからフルーツキャップ折りの作業が入り、「楽しい！！」と意欲的に作業を行っています。また、コロナ禍の影響も少なくなり、旅館のタオル袋詰め作業がコンスタントに入るようになりました。場合によっては、班の枠を超え段ボール班やリサイクル班の作業の手伝いもさせていただいています。利用者さんにとっては、新たな自分の可能性を開花させ、結果的に良い効果があります。

まだまだ、コロナウイルスの影響を受け、作業に制約がかかることも懸念されますが、新規作業の作業や班の枠を超え皆さんで協力をして頑張っていきたいと思えます。

ご家族の皆様には、今まで同様利用者の皆さんの成長を温かく見守っていただけたら幸いに存じます。

令和5年度も大変お世話になりました。ありがとうございます。令和6年度もどうぞよろしく願いいたします。

(担当：管野富江職業指導員)

# 段ボール班



ボンドをつけて箱作りをする利用者さん



仕切り組作業をする利用者さん



納品直前 梱包されたダンボール



段ボール班の皆さん



緩衝材づくりをする利用者さん



梱包した製品の荷揚げはフォークリフトで

令和5年度も無事に締めくくる時期となりました。今年度も大きな病気やケガもなく生産活動に取り組めたこと大変良かったと思います。集中して日々の作業を納期に間に合うように励む姿は立派な態度でした。毎月努力して自分が働いた工賃を受け取る時の充実感・達成感がひしひしと伝わってきます。働く喜び・責任感というものが着々と身に付いてきているのだなと実感します。

現在も物価高騰のあおりを受けて物流業界にも多大な影響が出ております。下請け作業も注文の波が激しく全体量としても減少した一年でした。そんな中でもみなさん分担して仲良く作業に取り組んでいただきました。みんなで一つの作業を仕上げる過程の中で、得手不得手な面は必ず持っています。できなくて立ち止まるのではなく、できる人がサポートしながら一緒に作り上げる。相互作用によって相手を理解し、自分も理解されると思います。苦手なこと・わからない事は全然恥ずかしくはありません。一步踏み出し周りに「協力」を求めていきましょう。周囲に助けを求め、協力してもらえることは「究極の自立」に繋がります。積極的に力を借りてスムーズに作業に取り組まれることを期待しております。一年間大変お疲れさまでした。

(担当 木村光永目標工賃達成指導員)

# 農耕園芸班



農耕園芸班の皆さん



水やり作業をする利用者さん



出荷のため荷揚げする利用者さんたち



花市ウィークでお客様のお手伝いをする利用者さん⑤



花苗ポット再利用のため、きれいに磨く利用者さんたち



令和5年度は、大型ハウス・倉庫の整備も完了し、良い環境のもとで園芸作業を始めることができましたが、厳しい自然環境の中での栽培や作業となりました。4月下旬からの高温乾燥によって生育中の苗が焼ける被害があり、苗を購入して5～6月の受注納品数量の確保に努めました。また、6月の納品は雨天が多く、足元の悪いところトラックへの積み込み作業を行う日々でした。さらに7月下旬以降、最高気温が35℃を超える猛暑となり、8月5日に梁川町で最高気温が40℃を記録するなど30℃を超える日が彼岸まで続きました。記録的な暑さにより、パンジーなどに発芽不良・生育不良・生育遅れが生じ、一般販売が一時できなくなりました。このような異常気象でしたが、「花市ウィーク（6月）」と「あぶくま祭（中止）」の代替行事で「秋の花市ウィーク（11月に変更）」を開催することができました。

園芸班利用者皆さんの健康安全を優先して、暑い日は水分補給と休憩時間を長めにとり、終業を早めにするほか、日除けを設置する対策を行いました。皆さんの協力により作業中の事故もなく無事に過ごせましたことに厚く感謝申し上げます。

令和6年度も利用者皆さんの健康安全を優先して、良い花苗栽培を目指して参りますので皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

（担当：佐藤典昭次長）

# リサイクル班



リサイクル班の皆さん



ベッドの洗浄作業をする利用者さん



精密機器の部品を分解する作業をする利用者さん  
(写真 上中下)



AEDパッドの分解作業をする利用者さん

リサイクル班のメンバーのみなさん、一年間作業お疲れ様でした。  
今年は年間を通して作業を安定して請け負え、加え新しい仕事が増えたことで年間の作業収益が上がりました。利用者さんは、新しい作業の手順をしっかりと覚え、丁寧に手早く進めることができていました。

また、介護用ベッド本体と手すり部分を洗浄、消毒する作業も継続し行いました。汚れはいろいろな所にあり、狭い所や影の部分の汚れを落とす大変な作業でした。ベッドを覗き込みながら汚れを見つけては、丁寧に洗浄することができていました。班の仲間同士楽しく過ごせ、作業中には協力し合う姿が見られたことが、素晴らしかったと思います。

来年度もみんなで協力し作業を進めていって欲しいと思います。よろしくお願ひします。

(担当：鈴木信行主任)

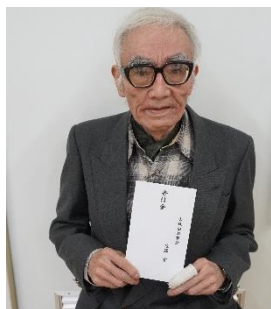
# 古紙回収 両施設で受付継続！ 引き続き ご協力お願いします



送迎用マイクロバス車庫内の奥にお持ち込みください

保護者会だより

## 佐藤 寛 様からご寄付



### いただく

佐藤様からいただいた寄付金を手にする池田会長

伊達郡手をつなぐ親の会で長年にわたって古紙回収活動に御尽力された佐藤 寛さんより活動を中止することになったことにもない、これまでの益金の一部をほどはら授産所保護者会にご寄付したいとの申し出を受け、このほど寄付金をいただいてまいりました。寄付金は、これまでの古紙回収の成果であり、保護者会では大切に使うことにしています。改めて本紙面を借り、ご寄付いただいた佐藤 寛様へ厚く御礼申し上げます。

伊達郡手をつなぐ親の会で行っていた古紙回収活動が、昨年末をもって終了しました。この間、両施設の保護者の皆様には、回収にご協力いただき、ありがとうございました。

今般親の会の古紙回収活動が中止となったことを受け、ほどはら授産所とだての郷でその活動の一部を引き継いで行うことになりました。ご家庭や事業所に回収に行くことは困難ですが、今までどおり皆様から古紙回収にご協力いただければありがたいと、送迎バス車庫奥の集荷場所にご持参ください。この益金については、だての郷の活動に役立てることにしています。

**編集後記**／ 令和5年度の年度末を迎えました。振り返ると今年度は感染症分類5類移行により、社会全体がコロナ前に近く動き出しました。しかし、感染者数は直近で第8波前と同じくらいの患者さんがいると言われ、油断できない状況で、そのなかにあって行事は中止や変更が引き続き形になりました▼節分の集いに際し、すし竹様から今年もお寿司をいただきました。毎年利用者さんたちは楽しみにしており、美味しくいただくことができました。改めてすし竹様に御礼を申し上げます▼現在、新年度に向け事業計画案と予算案の編成が大詰めで、厳しい財政の中、充実した就労支援活動ができるよう作業を進めています。事業と予算は今月開く理事会、評議員会で議決を受けることになっています▼上中瀬町町内会の皆様には会員に加えていただき、ありがとうございました。会長さんと班長さんには当所広報を配付いただき御礼申し上げます。▼結びに、令和5年度ほどはら通信を1年間お読みいただき、ありがとうございました。施設と保護者の皆様、地域の皆様をつなぐ架け橋として、新年度もどうぞよろしく願い申し上げます。(M)

**ほどはら授産所 授産品 トイレットペーパー 販売中**

**シングル・150mの芯なしトイレットペーパー**

**価格1ケ96円 (消費税込105.60円)**

手工芸班の皆さんが包装作業をしています。お買い求めは、ほどはら授産所でどうぞ。配達もいたします。ご注文お待ちいたしております。(575-4355)

